

Ubuntu壁紙コンテスト

(勝てるとは言っていない)

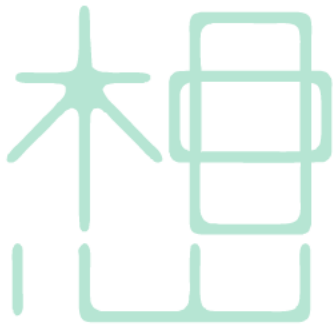
その**勝ち方**を教えます

Hajime MIZUNO @ Ubuntu Japanese Team

Ubuntu 20周年オフラインミーティング 2024/11/17

VirtualTech Japan

Linux初心者にありがちなこと



デスクトップのカスタマイズがんばりがち

10年くらい前の筆者の記事
から発掘したスクショの例。



人類は.zshrcの編集で休日を潰す生き物

- デスクトップだけでなく、シェルやエディタなど、「自分で育てる」タイプのソフトウェアは多い。
- こうしたソフトウェアは、自分向けにカスタマイズすればするほど、使い勝手はよくなるはず。
- 見た目重要。
- 「僕のかんがえた最強の環境」はロマン。



ところが



高齢化社会を迎えるにあたって

- だが ~~おっさん~~になると 経験を積むと、カスタマイズはしなくなりがち
- 理由としては
 - 凝ったカスタマイズは手がかりすぎる
 - PCの数が増えたり、頻繁に初期化したりすると、いちいちやってられない
 - その環境の「標準」に近い挙動を知っておく必要がある

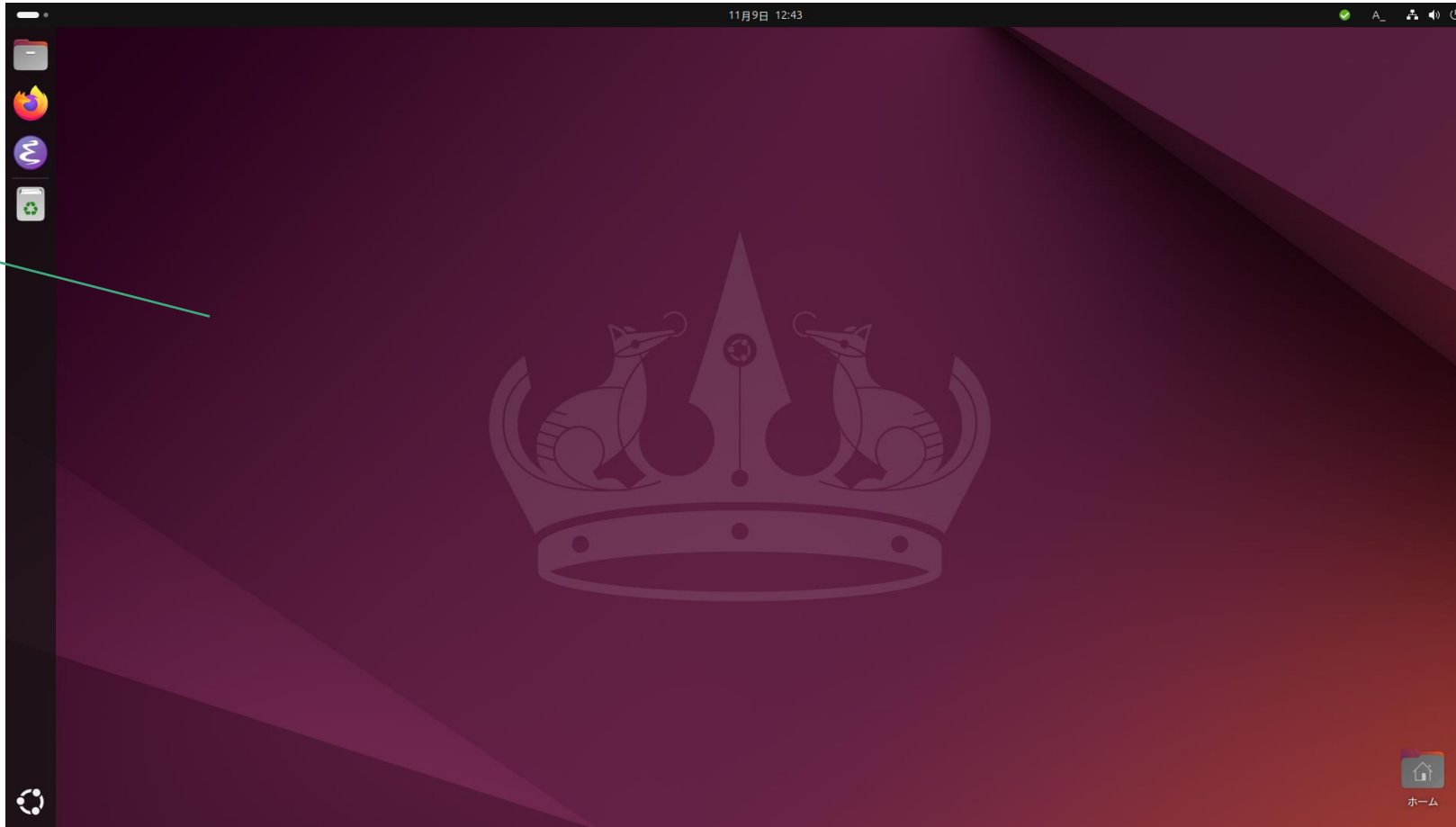
など

デスクトップカスタマイズの基本は壁紙の変更だけど、それすらデフォルトのまま運用したりするようになる。



もはやなにもかもが面倒くさい

今の筆者のデスクトップ



もはや、新しくセットアップしたPCに お気に入りの画像ファイルを コピーするのすら面倒

Nextcloud使えばいいのでは

まあそう言うなや



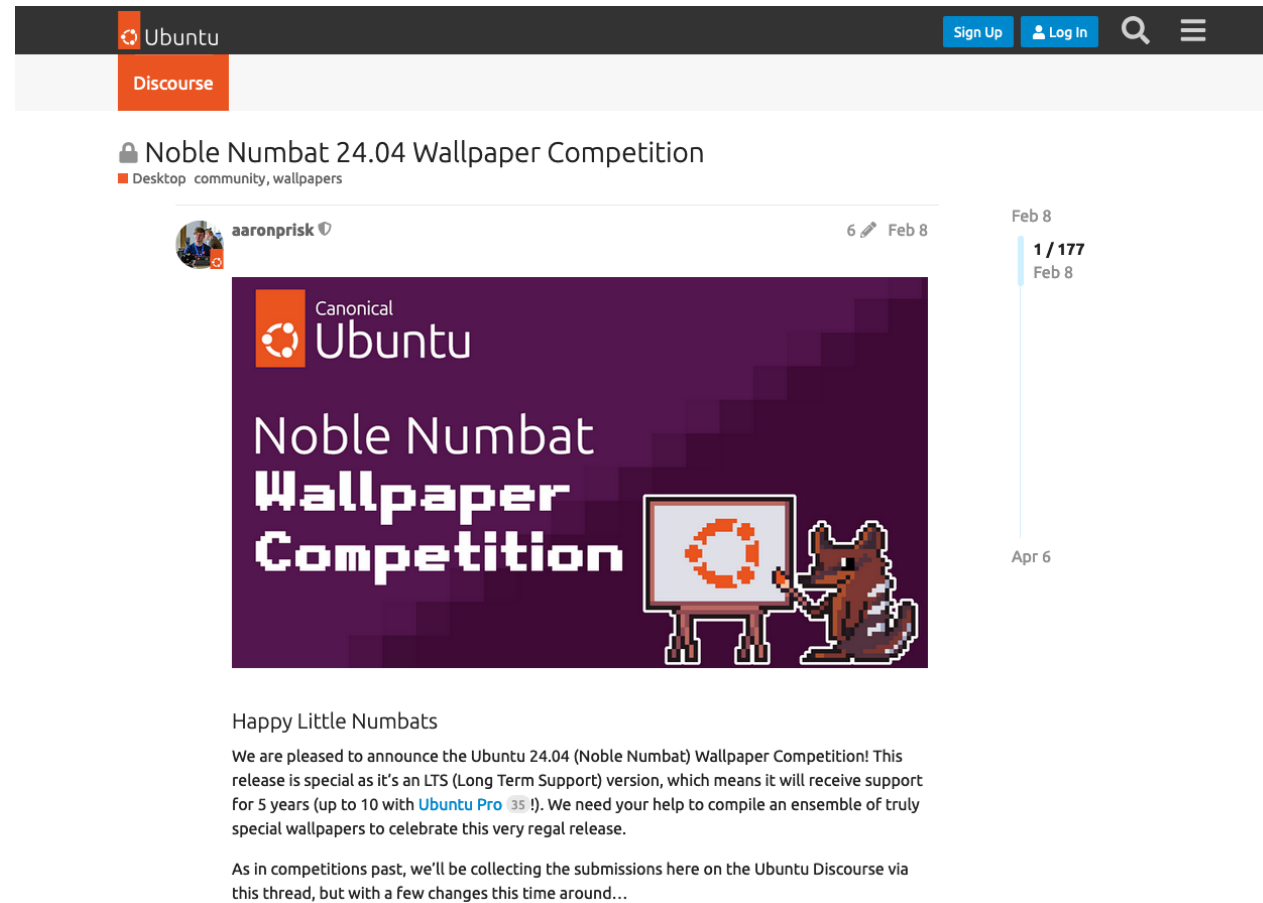
よし



面倒くさいから、自分好みの壁紙を
Ubuntuのインストールメディアに
収録しちゃおうぜ



それ、できます



The screenshot shows the Ubuntu Discourse forum interface. At the top is a dark navigation bar with the Ubuntu logo, 'Sign Up', and 'Log In' buttons. Below it is a light grey bar with the 'Discourse' logo. The main content area features a thread titled 'Noble Numbat 24.04 Wallpaper Competition' with a lock icon and the category 'Desktop community, wallpapers'. The thread is by user 'aaronprisk' and has 6 replies as of Feb 8. A large image of the competition banner is displayed, featuring the Ubuntu logo, the text 'Noble Numbat Wallpaper Competition', and a pixelated illustration of a Numbat standing next to a sign with the Ubuntu logo. To the right of the banner, a vertical timeline shows the thread's activity: 'Feb 8' at the top, followed by '1 / 177' and 'Feb 8', and 'Apr 6' at the bottom. Below the banner, the text 'Happy Little Numbats' is followed by an announcement: 'We are pleased to announce the Ubuntu 24.04 (Noble Numbat) Wallpaper Competition! This release is special as it's an LTS (Long Term Support) version, which means it will receive support for 5 years (up to 10 with [Ubuntu Pro](#) 35 !). We need your help to compile an ensemble of truly special wallpapers to celebrate this very regal release.' The final paragraph states: 'As in competitions past, we'll be collecting the submissions here on the Ubuntu Discourse via this thread, but with a few changes this time around...'

Ubuntu壁紙コンテストとは

- 半年ごと、毎リリースごとに開催
- エントリー期間中にDiscourseのスレッドに画像を投稿してエントリー
- 締切後に人気投票
- 人気のあった上位の画像がインストールメディアに収録される
- Ubuntu Oneのアカウントがあれば誰でも参加OK



壁紙コンテストのおもなレギュレーション

- 自分が権利を持つオリジナル画像であること
 - 生成AIは使用禁止
- ウォーターマーク、ロゴ、クレジットなどを入れないこと
- 3840x2160pxの解像度があること
- CC BY 4.0もしくはCC BY-SA 4.0でライセンスすること
- マスコット/デジタルアート/ネイチャー/その他の4部門で開催

開催ごとに、微妙にレギュレーションは変化する可能性あり

そもそも、よい壁紙とはなにか



よい壁紙のガイドライン

- 壁紙は単に鑑賞するだけの画像ではない
- デスクトップに貼った時の「**使い勝手**」が重要



よい壁紙のガイドライン

- 世界中のユーザーが使うため、国や文化によって好まれないイメージは避けた方が無難
- 画質はよいに越したことはないが、ファイルサイズがでかすぎるのは配布面で問題を起こすためよくない
- ドットバイドットで表示した際に、はっきり見えること

<https://gitlab.gnome.org/GNOME/gnome-backgrounds/-/blob/main/README.md> より抜粋して意訳

よい壁紙のガイドライン

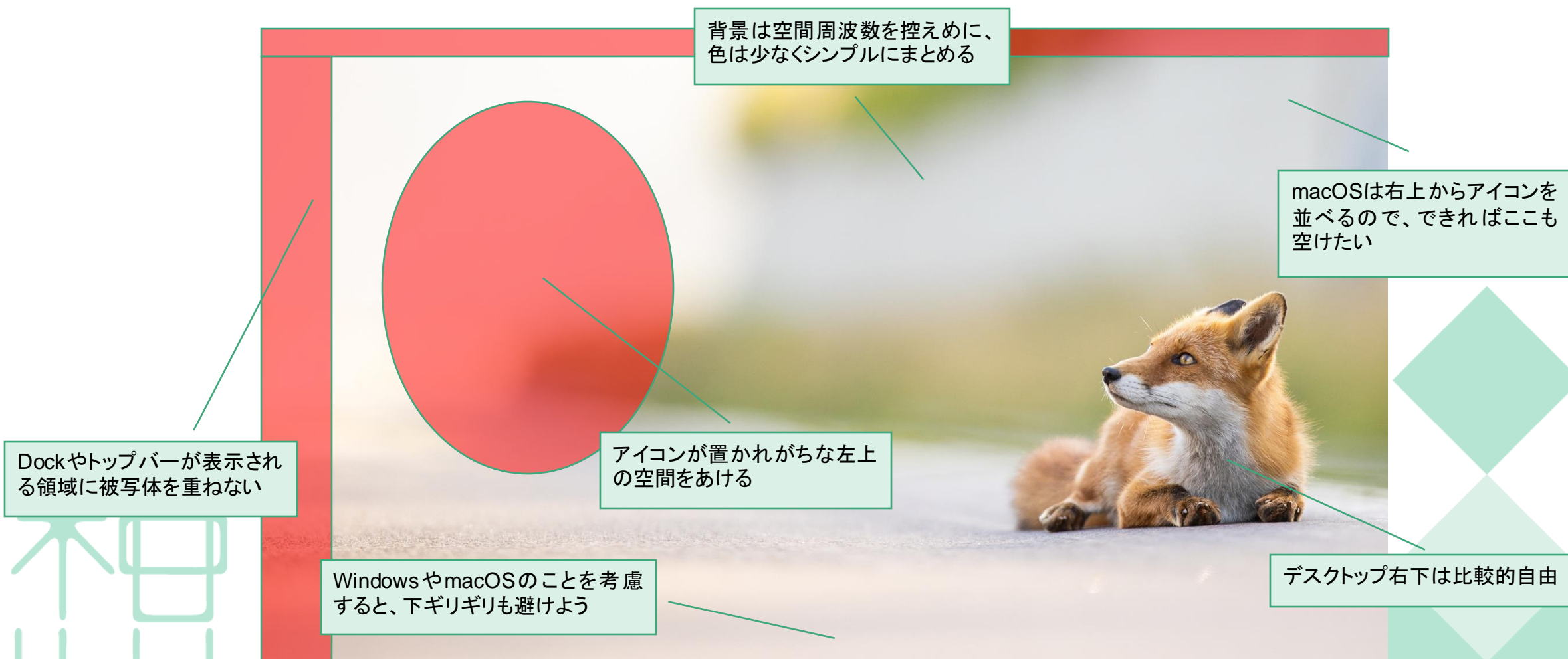
これに加えて、個人的なガイドラインとして以下がある

- 背景の空間周波数は低い方がよい
- 色は少ない方がよい
- 左上にスペースを空け、重いオブジェクトは右下に配置せよ

よい壁紙の例



よい壁紙の例



ここまでドヤ顔で解説してたら

いくやさんに

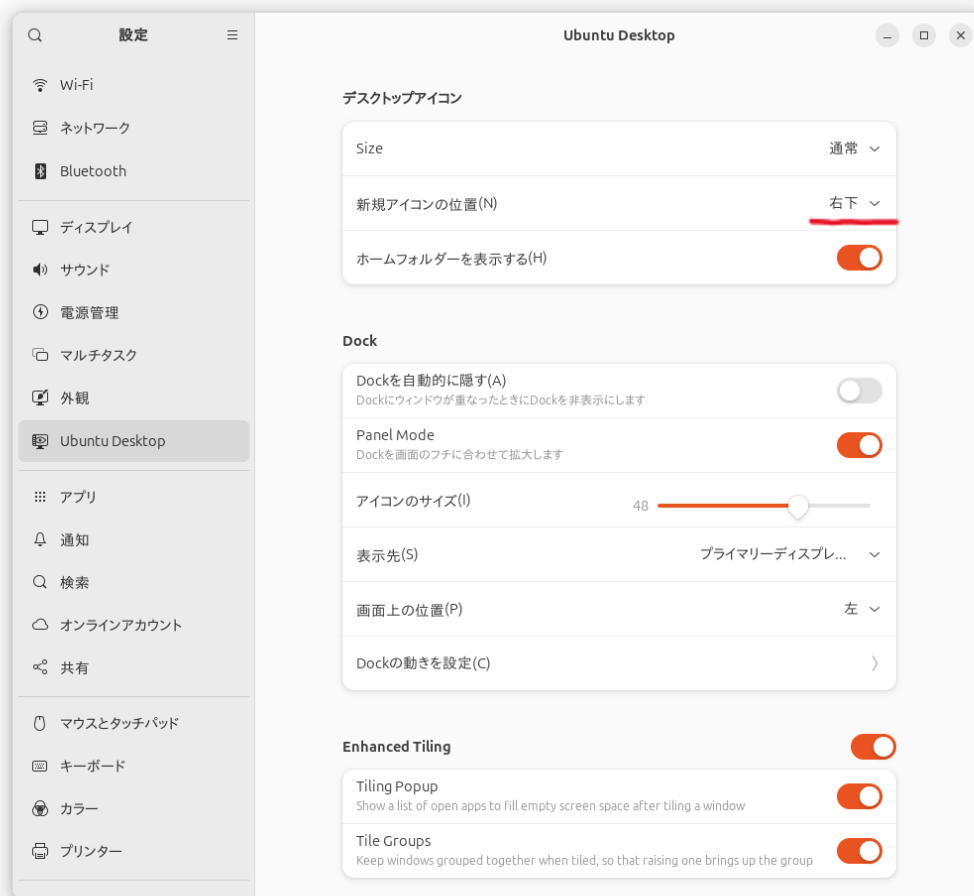


今のUbuntuはデフォルトだとアイコンが右下から増えていくので、右下は空けておいたほうがいいんやで.....

と指摘された件



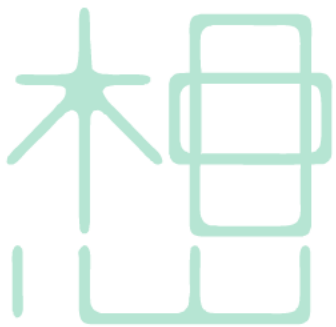
ほんまや



これはUbuntuのデフォルトが
直感的じゃないので
設定を「左上」にしておこうぜ



壁紙コンテストの注意点



16:9で4Kの解像度が必要

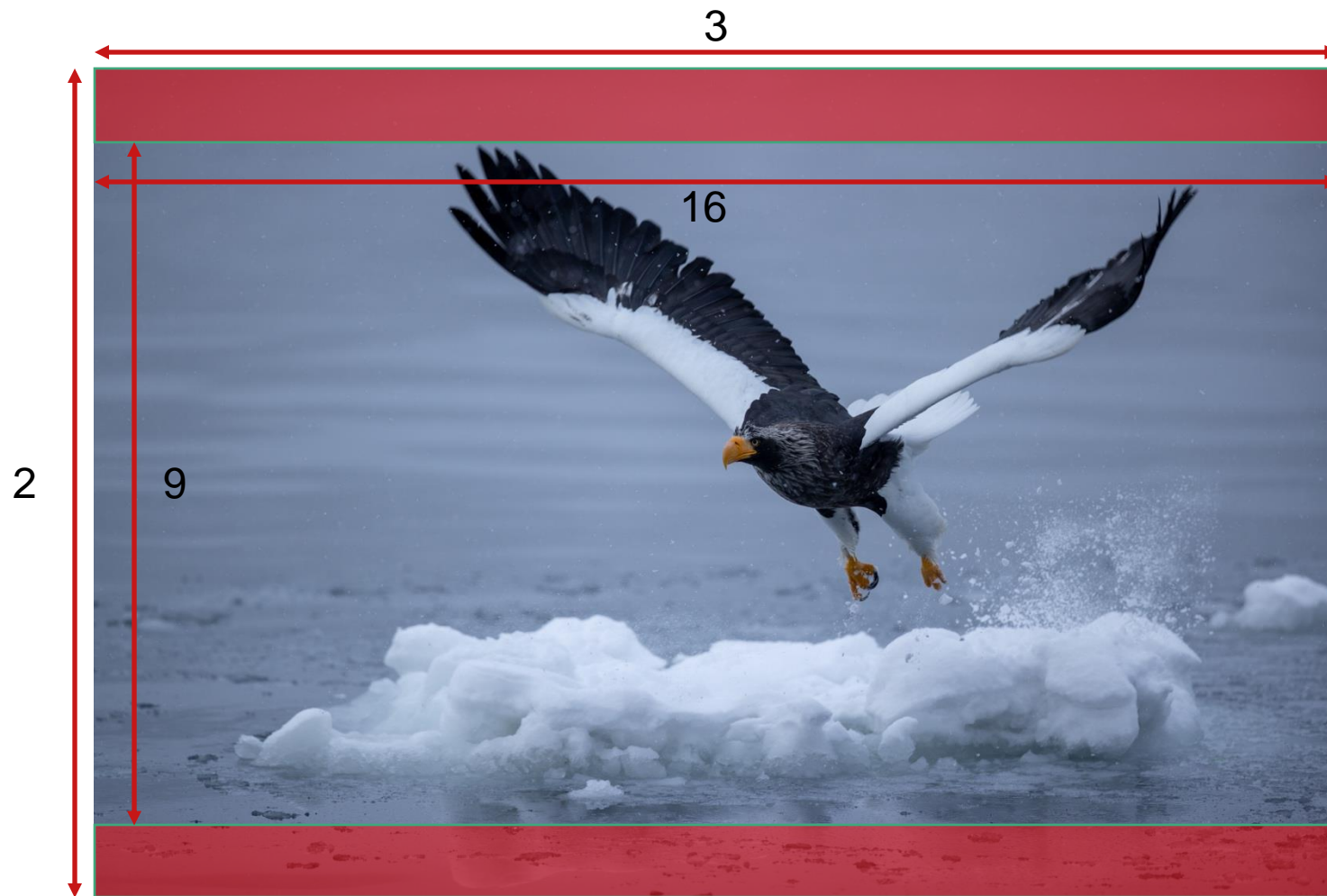
- 16:9がクセモノ
- 一般的なカメラのセンサーは、3:2もしくは4:3
- 16:9にする場合は、上下をトリミングすることになる



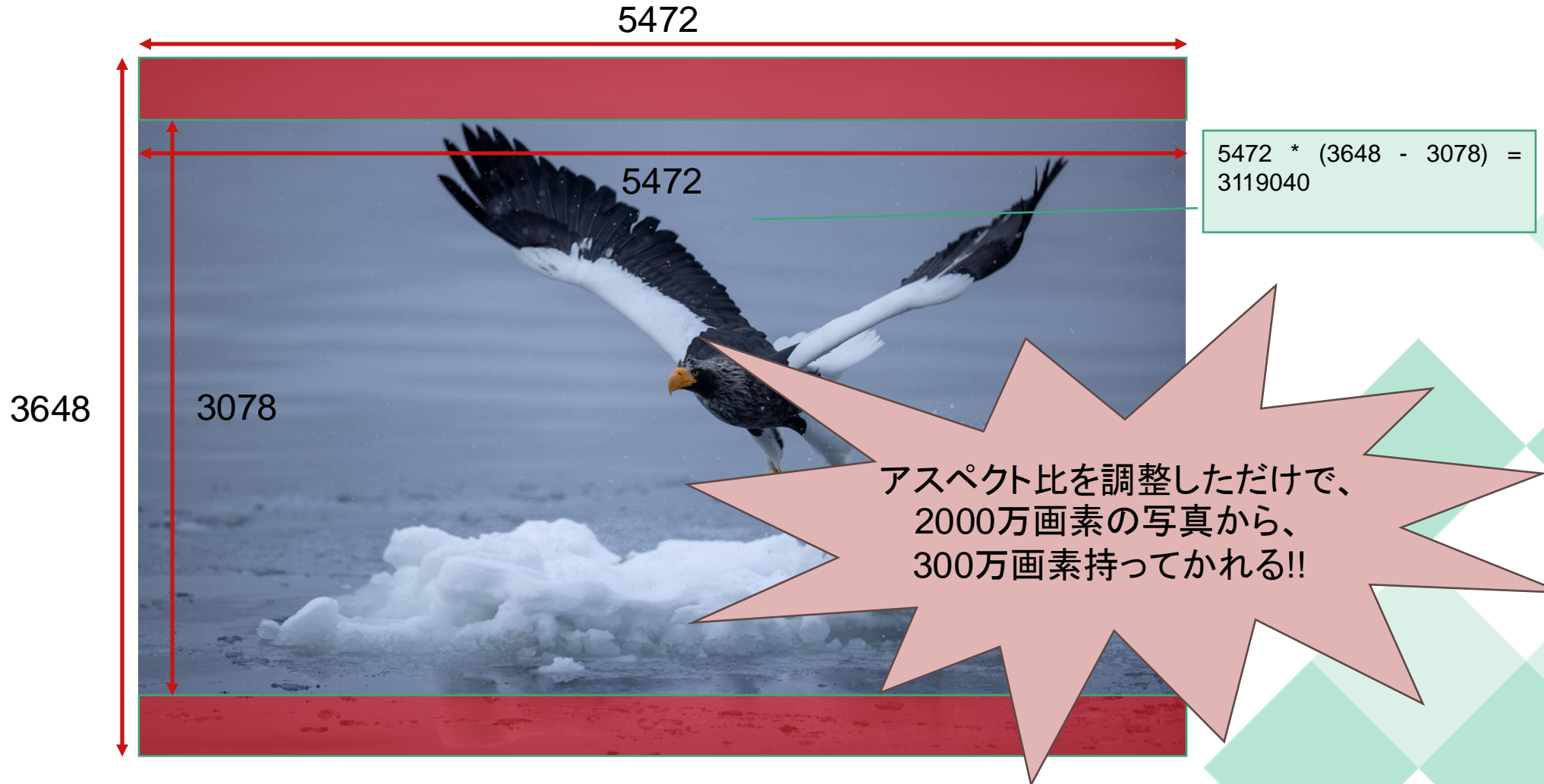
たとえばこの2000万画素の画像が



こうなる

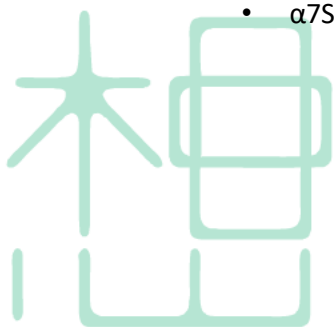


ピクセル数に換算すると



16:9で4Kの解像度が必要

- カメラは画素数が上がれば上がるほど画質が下がる
- つまりできるだけ画素数の少ないカメラを使いたい
- でも画素数が少ないとトリミング耐性が低い
- 16:9にただただで15%の画素を持っていられる.....
- その状態で800万画素を確保する必要がある
 - 結構**つらい**
 - α7S IIIとか使えないのでは.....



ライセンスはCC BYないしBY-SA

- 自由なライセンスで一般向けに公開する必要がある
 - まあこれ自体はOSSのプロジェクトなので当然なんだけど
 - 写真って個人的な「作品」でもあるわけよね
- この条件が、一般的な写真家の都合とバッティングする
 - フォトコンテストは、未発表作品でないと応募できない
 - 将来的に自分が発表したい写真を第三者の自由にするわけにはいかない



ライセンスはCC BYないしBY-SA

なのでそこを気にする場合は

- 将来的に使う予定はない
- パクられても構わない

という「惜しくない」写真しか出せない

渾身の一枚を出してくる人に比べると、つまり**初手からハンデ戦**



実はこれは没データ

Ubuntu 23.10でコンテストに
入賞した、筆者の写真



こっちが写真としては本命データ



こっちが写真としては本命データ



まあでもこれはCC BYでは
出せねえよな!!

コンテストの勝ち方

(くれぐれも、勝てるとは言っていない)



どんなフォトコンでも、傾向と対策がある

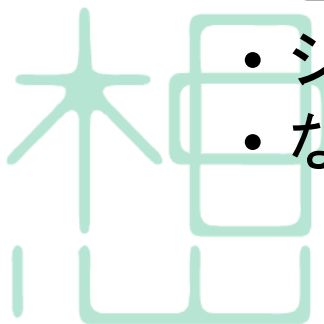
- 単に**よい写真、上手い写真が勝つわけではない**
 - いくつかのポイントを抑えておけば、初心者でも勝てる
 - 逆に言えば、そこを抑えずに自分の好きな写真を投稿してもだめ
- プロの写真家が審査するわけではなく、アマチュアの人気投票
 - 相手は写真に詳しいわけではないので、**評価のポイントがそもそも違う**
 - 写真の上手さよりウケる被写体の方が重要
- ウケやすい傾向は間違いなく存在する
 - **有利な被写体、不利な被写体**がある
- 投票する多くは外国人
 - 日本人の好みとは少し違うよ

高いカメラやレンズがいるんじゃないの？

- 3840x2160pxは、いわゆる4K
- 4Kの写真なんて撮れないよ!?
- いや、計算して欲しい。
 - $3840 * 2160 = 8294400$
 - すなわち**4Kはたったの820万画素**
- 9年前の**iPhone 6Sのカメラが1200万画素**だぜ？
- 勝つために**高価な機材は不要**
 - っていうか、そんなところみんな見てない

壁紙としての使い勝手は

- 壁紙は単なる画像ではないので、使い勝手が重要だと言ったな
 - すまん、あれはこの場においては嘘だ
 - 嘘ではないんだけど、コンテストでそこまで考えて投票してる人はいない
- なので被写体の配置とかを難しく考えなくてもOK
- ただしぱっと見の気持ちよさ、みたいなものは大事
 - 色の使い方
 - ごちゃごちゃしてないこと
 - シャープさ
 - などなど



ウケる写真の傾向



ウケた例



ウケなかった例

ウケる写真の傾向



ウケた例



ウケなかった例

星が鉄板

動物はアカンか.....



そうは言っても、ヘタクソじゃだめでしょ？

- 普通に見たら**失敗写真**でも、**壁紙用に加工したら生き返った**例はたくさんある。
- 最近**加工ツールが超優秀**なので、**ちょっとくらいの失敗は問題にならない**。
- というか、むしろ**しっかり撮れている写真は逆に壁紙に向かない**。



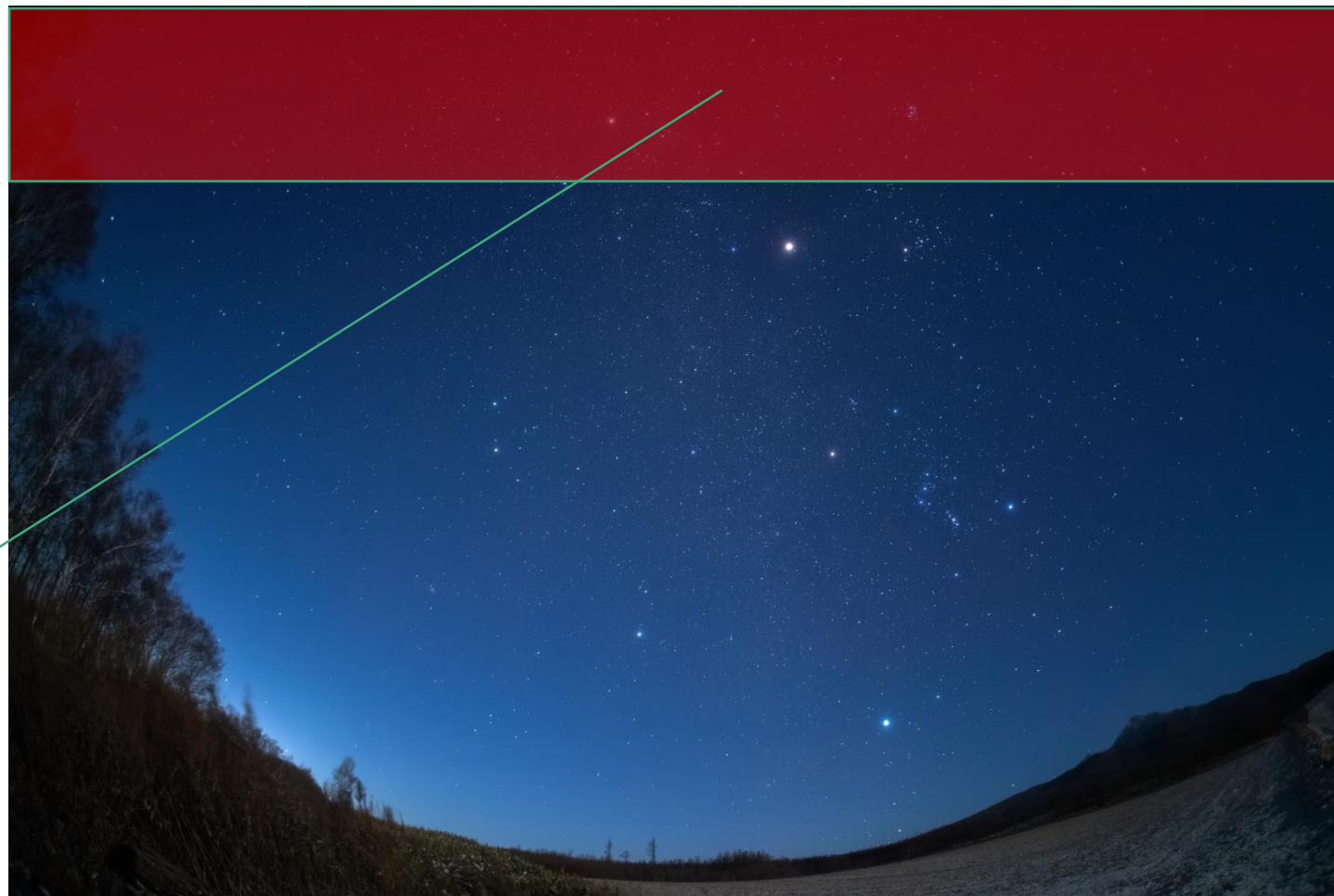
構図を追い込んだ成功写真の例



完璧なのでトリミングの余地がない

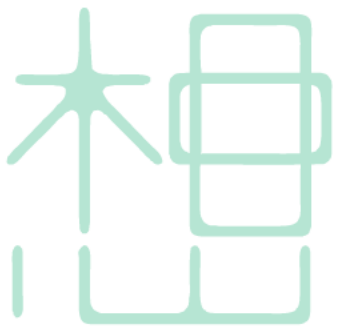
四隅までしっかり構図を追いつ込んで撮影しているので、トリミングの余地がない

16:9にするために上を切ったら、冬のセブンスターが見切れてしまう



むしろ失敗してる写真の例

鶴が「写ってるだけ」で、壁紙にしても面白みのない写真



失敗写真を大胆に切っていこう

失敗写真がトリミング+回転で、
壁紙向きの構図に復活！



ざっくりまとめ

- あまり難しいことは考えなくていい
- 高い機材も必要ない
- 失敗写真こそチャンス → **初心者でも大丈夫**
- 人気のある被写体を、教科書通りに撮れば、それだけで上位に十分食い込める
- エントリーがはじまったら、早めに投稿する方が有利かも



みんな気軽にコンテンツに参加して
自分の写真をUbuntuに収録しようぜ！



未承諾広告



実践Ubuntuが24.04に対応したよ！



**Ubuntuを体系的に学び、
実践的に活用する！**

- Linuxの基礎知識からUbuntuの導入、システム管理まで、わかりやすく！
- Linuxでは必須のコマンドライン操作・シェルスクリプトの活用もしっかり解説！
- クラウド・コンテナ・WSL2など、さまざまな環境に対応！

● 西和システム



**基本から体系的に学び、
実践的に活用する！**

- Linuxの基礎知識から、Ubuntuの導入、システム管理まで、わかりやすく！
- Linuxでは必須のコマンドライン操作、シェルスクリプトの活用も基礎から解説！
- クラウド・コンテナ・WSL2など、さまざまな環境に対応！

● 西和システム



11月23日発売 予約受付中！

本・コンピュータ・IT・OS



基本から体系的に学び、
実践的に活用する！

●Linuxの基礎知識から、Ubuntuの導入、システム管理まで、わかりやすく！
●Linuxでは必須のコマンドライン操作、シェルスクリプトの活用も基礎から解説！
●クラウドコンテナWSL2など、さまざまな環境に対応！

秀和システム

画像にマウスを合わせると拡大されます

著者をフォロー



水野 源

フォロー

Linuxをマスターしたい人のための実践Ubuntu[第2版]: 24.04LTS対

応 単行本 - 2024/11/23

水野源 (著)

予約注文

[すべての形式と版を表示](#)

✓ 「予約商品の価格保証」対象商品。 規約

定番書籍『Linuxをマスターしたい人のための実践Ubuntu』が、24.04 LTSに対応して改訂されました。Ubuntuの導入方法やLinuxの基礎的な知識から、サーバーの構築と運用、クラウドでの活用、シェルスクリプトの活用まで、体系的に学び、そしてLinuxを実践的に活用できるように、わかりやすく徹底的に解説しています。

・第1章 Ubuntuを始めよう

OSの役割、Linuxの歴史、Ubuntuの歴史と現状など、Ubuntuを使う際に知っておくべきことをまとめています。Ubuntuを初めて使う人は読んでおくといでしょう。

・第2章 Ubuntuデスクトップを始めよう

Ubuntu 24.04 LTSを、VirtualBox(仮想マシン)および実マシンにインストールする方法を解説しています。デフォルトアプリケーションの紹介、デスクトップ環境の基本的な使い方、設定と応用を説明しています。

・第3章 コマンドライン操作を習得しよう

Linuxを使う上で避けては通れないシェルについて、仕組みと基礎から、便利な使い方、カスタマイズまで、一通りのことを学びます。さらには、GitやPowerShellについても解説しています。

▼ [続きを読む](#)

[この商品に関する問題を報告する](#)

本の長さ



712ページ

言語



日本語

出版社



秀和システム

発売日



2024/11/23

寸法



18.2 x 3.8 x
23.5 cm



VirtualTech Japan